

# 排出削減実績報告書

---

## 排出削減事業の名称：

有限会社メルヘンローズのバラ農園にて園芸用ヒートポンプを導入し、CO2削減を図る事業

排出削減事業者名：有限会社メルヘンローズ

排出削減事業共同実施者名：JA 三井リース株式会社

その他関連事業者名：珍珠九重農業協同組合  
全国農業協同組合連合会

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	有限会社 メルヘンローズ
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	有限会社 メルヘンローズ
住所	大分県玖珠郡玖珠町大字岩室 1376 番地
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	JA 三井リース株式会社
その他関連事業者（注）	
関連事業者名(1)	玖珠九重農業協同組合
関連事業者名(2)	全国農業協同組合連合会

（注）その他関連事業者とは、排出削減事業共同実施者とは別に、排出削減に寄与する設備機器の生産・販売者、国内クレジットの創出コストの低減を図る事業の集約を行う者等をいう。

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

有限会社メルヘンローズのバラ農園に園芸用ヒートポンプを導入し CO2 削減を図る事業

### 2.2 排出削減事業の目的

高効率ヒートポンプを導入することにより化石燃料使用量を削減し、よって温室効果ガスの排出を抑制する。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既設 A 重油焚暖房機による加温を、高効率ヒートポンプに置換え、A 重油より排出原単位の低い電力に動力源を置き換え、エネルギー使用量と温室効果ガス排出量を削減する。プロジェクト実施後、主にはヒートポンプを使用するが、従前の暖房機は補機利用するため撤去せずに置く。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

なし

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

事業開始日 2008年12月3日（本格稼働日）

#### 3.2 モニタリング対象期間

（本報告における実績報告期間）

2010年3月1日～2011年3月31日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
004	空調設備の更新

#### 4.2 活動量

活動量・原単位は採用していない

##### 4.2.1 活動量・原単位

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

#### 4.3 事業の範囲（バウンダリー）

このプロジェクトの範囲は、既存の A 重油使用の暖房機と更新後のヒートポンプの稼働に由来する CO<sub>2</sub> 排出量である。これらの設備からの温風を当該事業者外へ供給することは無いため、プロジェクトの範囲は、更新する設備から温風供給を受ける温室設備である。

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更あ る場合、) 変更理由
$EL_{PJ}$	更新後電力使用量	kWh	1,159,311	九州電力請求書	
$\varepsilon_{PJ}$	更新後ヒートポンプ COP (エネルギー消費 効率)	—	3.31	カタログ値* <sup>1</sup>	
$\varepsilon_{BL}$	更新前の熱源機器効率	—	0.842	カタログ値* <sup>2</sup>	
$CF_{fuel}$	A 重油の単位発熱量あ たりの炭素排出係数	tC/GJ	0.0189	デフォルト値	
$CF_{electricity}$	電力の炭素排出係数	tC/万 kWh	0.862	デフォルト値 (排出削減量が有利になるように全電 源平均を使用)	

\* 1 : 能力 28.0kW/消費電力 8.45kW=3.31 (ネボン株式会社「グリーンパッケージ」カタログ グリーンパッケージ使用表)

\* 2 : ネボン社 旧型ハウス加温機 仕様書

なお以下の値を参考としてモニタリング対象とし、電力使用量との間で突合せを行う。

項目	定義	単位	排出削減量算定時 に使用した値	モニタリング方法	記録 頻度	データ記録方法 (電子媒体・紙媒体)	データ 保管期限	備考
$\sum_{i=1-59} iEL_{PJi}$	各ヒートポンプ電力使 用量	kW	—	ハウス管理者が制御盤を元 に記録	毎月	紙媒体から電子媒体 に転記	5年	
$h_{PJ}$	ヒートポンプ稼働時間	時間	—	ハウス管理者が制御盤を元 に記録	毎日	紙媒体から電子媒体 に転記	5年	

## 7 排出削減量の計算

### 7.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
1,159,311kWh		0.862tC/万 kWh	366.4tCO <sub>2</sub>
EM <sub>PJ</sub>			366.4tCO <sub>2</sub>

### 7.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
419.6kl	39.1MJ/l	0.0189tC/GJ	1,137.0tCO <sub>2</sub>
EM <sub>BL</sub>			1,137.0tCO <sub>2</sub>

### 7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
-	-	-	0 tCO <sub>2</sub>
LE			0tCO <sub>2</sub>

### 7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EM<sub>BL</sub></i>	1,137.0tCO <sub>2</sub>
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM<sub>PJ</sub></i>	366.4tCO <sub>2</sub>
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0 tCO <sub>2</sub>
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	770tCO <sub>2</sub>

## 8 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン - 実績 (①-②)
423.3	298.2	125.1

## 9 再生可能エネルギー利用量

特になし

	モニタリング期間 ( 年 月 日 ~ 年 月 日 )			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			